

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

# 武蔵野市議会だより

No.317

発行日 平成18年(2006年)2月1日

発行 武蔵野市議会  
東京都武蔵野市緑町2-2-28  
TEL 0422-60-1883(直)  
FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 代表質問 .....2-3面
- 一般質問 .....4-5面
- 議案の審議結果一覧 .....6面
- 政府への意見書 .....6面
- 陳情審議結果 .....6面
- 寄付行為にかかる申し合わせ .....6面

## 第四回市議会定例会閉会

十二月二日から十八日間の会期で開かれた第四回定例会は、十二月十九日に閉会しました。  
今議会では、市長就任後初の施政方針演説、これに対する七人の議員からの会派代表質問、災害見舞金条例の一部改正など十八件の市長提出議案や三本の議員提出議案が上程され、二十議案が議決、一議案が継続審議となったほか、十九人の議員から一般質問が行われるなど、活発な議論が交わされました(審議結果一覧は六面に掲載しています)。

## 助役の選任に同意

十二月九日の本会議で、空席となっていた助役二名の選任について審議が行われ、いずれも賛成多数で同意されました。

### ■第一助役・会田恒司氏



昭和三十八年入庁後、介護保険課長、交流事業担当部長等を経て、平成十六年四月から環境生活部長。五十六歳。

### ■第二助役・塩沢忠彦氏



昭和三十四年入庁後、資産税課長、財務部参事等を経て、平成十五年七月から都市整備部長。六十歳。

## 災害見舞金等支給条例を改正

大雨による浸水被害等にも適用

平成十七年十二月十九日の本会議で、「武蔵野市災害見舞金等支給条例の一部を改正する条例」が可決されました。これにより、今まで適用されなかった大雨などによる浸水被害等についても災害見舞金が支給されることとなります。

見舞金額は、火事の消火活動により水損を受けた場合が一万円、豪雨により床上浸水した場合が二万円、本案は同十二日の総務委員会の審査を経て、同十九日の本会議で全会一致で可決されました。

## 市長の退職手当減額議案継続審査へ

邑上市長の退職手当を、約三分の一に減額する「武蔵野市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例」が、十二月九日の本会議に上程、総務委員会に付託されましたが、同十二日の総務委員会ではさらに慎重な検討が必要との意見があり、今後継続して審査することになりました(次回の総務委員会は二月九日開催予定)。

## 防災・安全センター(仮称)等の工事請負契約を可決

武蔵野市防災・安全センター(仮称)等西棟増築の工事請負契約について、関連する三件を含む計四議案が、十二月十二日の総務委員会審査を経て、同十九日の本会議で全会一致で可決されました。同センターは、災害時などには市民生活の安全拠点となり、平常時には行政と市民の協働の場や会議室として使用されます。四件の合計契約金額は二十四億二千二十五万円。竣工は平成十九年五月の予定です。



## Photo Gallery

フォトギャラリー



●市議会だよりは、市民のみなさんからの公募写真を一面に掲載しています。次回の応募要領については、6面をごらんください。

# 施政方針を質す

## 代表質問

第4回定例会の2日目の12月6日、市長の施政方針に対して、7名の各会派代表者による代表質問が行われました。以下はその要旨です。

「施政方針」は、武蔵野市役所のホームページ (<http://www.city.musashino.tokyo.jp/>) でご覧いただけます。また、市役所2階の市政資料コーナー、各市政センター、各コミュニティセンターで配布しています。

### 石井一徳議員●自由民主党クラブ 前市長の市政を三十点と評価した理由は



Kazunori Ishii

**問** 昨年の市長選挙前の候補者アンケートによると、邑上市長は前市長の市政に対する評価を三十点としている。現状の武蔵野市政のどこが落第点を取る原因となっているのか、具体的に指摘していただきたい。

**答** 市民参加の手法を評価の尺度としたため、前市長の市政には合格点をあげられなかった。市政全体や市議会を評価したのではない。  
**問** 市長・市役所交際費を百万円以下に抑えることで、市政を支える広範囲な個人及び団体との関係において、礼を失うことになるのではないかと危惧する方がいる。

**答** 能力給の導入を含めた給与改革を検討している。組合側が同意していない部分もあるが、厳しく見直すという姿勢を堅持したい。  
**問** 吉祥寺駅周辺は都市基盤整備、商業活性化、防災対策等課題が山積している。今後の吉祥寺のあるべき姿を、ハード面からどう考えるかを伺う。

**答** 昨年年度立ち上げたグラウンドデザイン委員会を再出発させ、吉祥寺の将来像や具体的な方策等について議論していきたい。  
**問** この他に中学校給食、大型施設の見直し、固定資産税・都市計画税の減免等の質問がありました。

### 寺山光一郎議員●市議会市民クラブ 職員改革の断行は可能か



Koichiro Terayama

**問** 市長は市長選挙の際に自治労や市の職員組合の推せん、応援を受けた。職員給与、能力給の見直し、定数削減、手当の見直し、職員の給与・能力給の導入など給与システムの見直しは困難であると思いがちか。

**答** 応援はいただいたが、特に協定等は結んでおらず、職員に対しては厳しく対応していただく。職員交渉についても随時先頭に立つて行っていく。  
**問** 市長・市役所交際費を総額百万円以下に抑えるというところだが、支出基準について伺う。また、市民の安全・安心を守っている消防団への具体的な対応を伺う。

**答** 香典等を削減し、祝い金について最低限の必要経費で対応していきたい。消防団員の俸給等については可能な限り参列し、消防団員本人のご不幸の場合のみ花輪等の対応を考えている。今後基準を明確にし、市民に周知していきたい。  
**問** 「生きる力」をつける体験教育の場であるセカンドスクールについて市長の見解を伺う。

### 水野 学議員●民主・市民ネット 市民が主役の市政運営を



Manabu Mizuno

**問** 今の市政には、前市長のトップダウンの手法ではなく、全員参加型の仕組みが求められる。市長の市政に対する決意を伺う。

**答** 市民参加を重視した、市民が主役の市政にしたい。行政が先行し過ぎず、市民とともに歩んでいくスタンスが必要である。  
**問** 日頃行政が接触できない大多数の市民の意見を正確に把握し、市政に反映することが重要だと考える。次回の市民意識調査は平成十九年に実施の予定だが、少しでも早く市民の意見を把握するため、実施を一年前倒してはどうか。

**答** 今後あらゆる機会に市民参加の仕組みを取り入れていく考えであり、同調査のあり方については、市民参加の仕組みを整理する中で検討していきたい。  
**問** 市長は平成十五年の市長選挙に出馬した際、市長多選

### 小林清章議員●市議会公明党 熱意足らぬ 安心・安全への取り組み



Kiyooki Kobayashi

**問** 平成十六年度の市政アンケートの結果では、安全な市民生活の確保が第一位となった。本市では今日まで市民の生命・財産を守ることを最重要課題として、防災対策や災害弱者対策、防犯対策等に積極的に取り組んできたが、市

**答** 市民要望が一位だから施政方針に書き込むというスタンスではない。日常的に取り組むべき重要案件と考える。  
**問** 市の住宅耐震補強工事に対する無利子融資制度を検討しているが、国の補助制度等も拡充の方向にあり、まずは全体像をとらえ、どの程度効果があるのかを見きわめるべきでは。  
**答** 家具転倒防止金具の取り付けに一定の成果が出たこと考え、次のステップとしてこの補助制度を検討したい。

**問** 防災・安全センター(仮称)の設置については、防災面に対する評価が全くされていないが、必要性をどのように認識しているのか。  
**答** 機能そのものは必要だが、計画通り実施していきたい。  
**問** 中学校給食を直ちに実現すると公約したが、いつから実施するのか等を明確にすべきでは。  
**答** 十七年度に庁内プロジェクトチームを立ち上げ、十八年度中には検討を重ねて試行まで行いたい。これらを踏まえ、平成十九年度から実施ができれば年内に準備を進めている。教育委員会にもお願いしている。

### 本間まどよ議員●日本共産党武蔵野市議員 中学校給食の実施スケジュールは



Masayo Homma

**問** 小泉内閣が進めている改革は、国民に痛みを押しつける政治であり、地方自治体の長として、市民の暮らしを守る立場で、市独自の公共料金の値上げは見合わせ、生活支援型の施策を進めていく姿勢が大事と考えるが見解を伺う。

**答** 戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認をうたった第九条の必然性を感じており、改正しなければならぬ理由はわからない。第九条は基本的人権を守るべきと考えている。  
**問** 市長が施政方針の冒頭に、戦争のない世界平和に言及したのは、大いに評価するが、憲法第九条の持つ意義について伺う。

**答** 戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認をうたった第九条の必然性を感じており、改正しなければならぬ理由はわからない。第九条は基本的人権を守るべきと考えている。  
**問** 中学校給食の実施について、具体的なスケジュールを示してほしい。  
**答** 今年度中に庁内プロジェクトを立ち上げ、基本的な課題を整理し、十九年度の実施を目標としたいと考えている。

### 鳥崎義司議員●自由民主党クラブ 中学校給食実施について 慎重な表現をするのはなぜか



Yoshiji Shimazaki

**問** 選挙公報では弁当も選択できる中学校給食を直ちに実現するとあったが、施政方針の中では学校給食に近い形で食の提供が食費にか、検討に着手したいというかなり慎重な表現をしている。市の実情を理解した結果、より現実的な対応を考えるようになったのか。

**答** 来年度は実現に向けた検討委員会を議論し、平成十九年度実施を目指す。必ずしも学校給食法上の給食にこだわらず、給食的なものを目指すべきと考えている。  
**問** 施政方針では国際交流に流の必要性にしか触れていないが、既に行っているルーマニアやロシア、アメリカの都市との交流は見直す考えなのか。  
**答** 交流の成果を評価しながら考えていくが、方向性としては近隣諸国との交流を今後

### 大野まさき議員●むさしのリニューアル 前市政との違いと 幅広い市民参加の具体策は



Masaki Ohno

**問** 前市政との違いは何か。政策決定の過程に市民参加の手法を重視する点である。幅広い市民参加を促進するための具体的方策は。ホームページ内の電子会議室や電子掲示板を改善する等、市民意見を寄せやすい環境を整

**答** 市民が意見を言う場を設けていくと同時に、市長を始め、職員が地域に出て市民の声を聞いていくことが必要と考える。電子メール等も市民意見を聞く一つの手段として活用を考えていきたい。  
**問** 防災・減災について、ソフト面で市民との協働の取り組みがますます必要と考えるが、本市の今後の方針を伺う。  
**答** これまで行われてきた自主防災組織への支援のほか、有効な啓発活動などを検討し

**問** 吉祥寺グランドデザイン委員会对より実践的な活性化策を検討する場とするために、商店主や市民をメンバーとするべきと考えるがどうか。  
**答** ひとまず、前回の仕組みを維持して再開する。設置期間を延長し、今後、委員の補充・進行の仕方などについて考えた。  
**問** 北町こどもクラブの移転時期が定まらない理由は何か。また、学童クラブの今後の方向性を伺う。

**答** 学校の施設利用計画との調整が課題である。学童クラブはあそべと連携を図りつつ、存続させていきたい。  
**問** このほか、通学時の児童の防犯、新公共施設、北町水害問題、中学校給食、保育園「涼」環境、外環道路、市役所・職員改革等についての質問がありました。

### 市長の施政方針 市政運営の柱は「市民が主役」 邑上守正市長 Morimasa Murakami

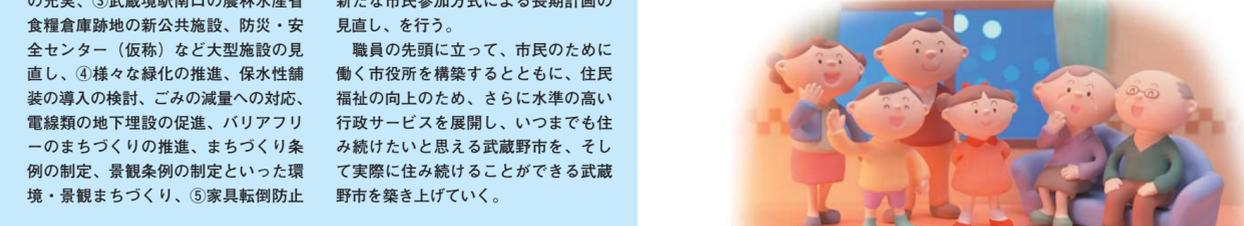


Morimasa Murakami

基本姿勢として、市民が主役の市政を市政運営の基本に据えるとともに、市長・市役所交際費の見直し、市長退職金の削減、既存のさまざまな事業やシステムに対する改革・見直しを実施していきたい。  
基本政策として、①中学生の食環境の充実、少人数制学級や複数担任制の研究、幼児期の子育て支援の充実、放課後児童対策の充実といった子育て支援・教育環境の充実、②保健・福祉の充実、③武蔵境駅南口の農林水産省食糧倉庫跡地の新公共施設、防災・安全センター(仮称)など大型施設の見直し、④様々な緑化の推進、保水性能舗装の導入の検討、ごみの減量への対応、電線類の地下埋設の促進、パリアフリーのまちづくりの推進、まちづくり条例の制定、景観条例の制定といった環境・景観まちづくり、⑤家具転倒防止

金具の取り付け事業に加え、住宅の耐震補強工事に対する無利子融資制度の創設を検討するなど災害に未然に対処する施策の取り組み、水害に対する本格的な対策の検討といった安全・安心なまちづくり、⑥自治基本条例の制定に向けた準備、徹底した情報公開・情報提供、市民活動団体に対する支援制度の研究、駅周辺地区の重点的なまちづくり、⑧新たな市民参加方式による長期計画の見直し、を行う。

職員の先頭に立って、市民のために働く市役所を構築するとともに、住民福祉の向上のため、さらに水準の高い行政サービスを展開し、いつまでも住み続けたいと思える武蔵野市を、そして実際に住み続けることができる武蔵野市を築き上げていく。





●11月11日吉祥寺駅北口広場でイルミネーションの点灯式が行われました。リニューアルされた駅前広場の装飾は電球を約7万5000個使い「光の壁」をデザインしています。

### ボランティアに対する市長の基本理念は

田辺あき子議員

**問** 市長のボランティアに対する考えは。  
**答** 地域活動を進めていく上で、大きな役割を担っていると考える。ボランティアの有償・無償の基準の整理や、参加の仕組みづくりも含め、積極的に推進していきたい。  
**問** 無償ボランティアへの対価として、地域通貨を導入する考えはないか。  
**答** 市内で実験的に導入されている地域通貨の動向も踏まえ、今後も研究していく。  
**問** 武蔵野赤十字病院の市民救急患者の受け入れを最低限確保すべきではないか。  
**答** 今後病院へ直接働きかけていきたい。このほか、西部地域のまちづくり、地域交番の役割等についての質問がありました。

### プレイスの規模縮小と職員給与の改定を質す

田中節男議員

**問** 武蔵野プレイスについて、①市長の選挙公約の「縮小」とは何を指すのか②最初に意見を述べると市民意見を誘導することになるため自分の意見は言わないとのことだが、縮小の公約を取り下げないと市長の言う「真の市民参加」に反するのではないか。  
**答** ①基本計画ができたことを機に広く市民、議会の意見を求めたい②賛成意見、反対意見の両方を踏まえて判断する。  
**問** 職員給与は全国第2位の水準で人口当たりの職員数も近隣市と比べて多い。削減の意思はあるか。  
**答** 能力給の導入を検討し、改善する。定数は削減目標を掲げる。

### 邑上新市長の自治体経営感覚を問う

桑津昇太郎議員

**問** 邑上新市長は、就任以来本市のさまざまな事業について理解を深めつつあると推察するが、①選挙時には土屋前市長の手法を30点と評価したが、大切なのは実績だ。行政としての本市の評価を改めて問う②公約に挙げた市役所改革にある「頑張る職員」像とは③給与システム見直しにおいて、成果主義や個人評価は導入できるのか。  
**答** ①行政としては合格点だ②市民に顔を向ける、他部署との連携を深める、自ら地域に出る、などを通して、市民のために頑張る職員となってほしい③今後検討したい。このほか市長交際費、生涯スポーツ社会への取り組み等についての質問がありました。

### 邑上市長の市政運営を質す

井口良美議員

**問** 平成26年度までにわたる第四期基本構想・長期計画は、市民の代表である議会が議決した、いわば本市の憲法だと認識しているが、①当計画に基づく市政運営の方針を問う②大事なことは市民と決める、とのことだが、市民意見と議会の意見が異なる場面ではどのように対処するのか。  
**答** ①基本構想の枠組みは維持しつつ、長期計画を見直したい②事業の計画決定プロセスではさまざまな市民意見を聞き、最終的には議会の議決を優先していきたい。このほか、固定資産税の三多摩格差是正、都市農業の安全・安心への取り組み、監視カメラの設置等についての質問がありました。

### 介護報酬不正請求の事実を問う

金子 武議員

**問** 本市において、指定事業所による介護報酬の不正請求が行われた事実はあるのか。  
**答** 都の指定取り消しによる無資格事業者への介護報酬128万9,219円が返還対象となり、現在まで117万1,044円返還されている。  
**問** がん予防・早期発見のため施策を問う。  
**答** 現在実施されている基本健康検診により、各種がん早期発見の実績がある。これを継続・拡充し、今後は予防の観点から、健康講座の企画、啓発活動に取り組む。このほか、「児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律」について本市での被害状況・対策、防犯・安全対策についての質問がありました。

### 主体性のない政治姿勢を断ず

やすえ清治議員

**問** 邑上新市長は就任後、選挙中に公約したさまざまな政策に対して、ほとんど「検討する・研究する」としか回答していない。今後4年間の施策の柱となるべき今回の施政方針でも、具体的施策の実現方法や理念は掲載されておらず、それらを持っているのか大いに疑問である。実現に向けて明確なビジョンを提示すべきと考えるが見解は。  
**答** 計画づくりについては、あらゆる機会市民の声を聞く場を設け、これらをもとに進めたいと考える。最終的には市長として判断し、議会で議論していただきたい。このほか、これまでの武蔵野市政、基本構想のあり方等についての質問がありました。

### 新市政で少人数学級実現を

梶 雅子議員

**問** 市や教育委員会の学級編成権が拡大される方向であるが、①市長が公約で挙げた「少人数学級」とは②加配教員を活用して、本市で少人数学級を実施する意図はないか。  
**答** ①少人数教育の中で、個々に応じた柔軟な教育・指導を推進することである②加配教員は、各学級の実情・状態に応じて配しており、一律に加配する考えはない。  
**問** 吉祥寺駅西口交番裏の高架下を駐輪場として使用を求めるといふが、  
**答** (株)吉祥寺ロンロンへの旨要請している。今後も継続して協議する予定である。このほか、成人式での冊子「ポケット労働法」の配布についての質問がありました。

### 三鷹駅北口周辺 積極的な駐輪環境整備を求め

向谷千鳥議員

**問** 三鷹駅北口周辺の駐輪環境について、①駐輪場整備に向けて、市の対策を問う②中央大通り商業施設に駐輪場整備・自転車整備員の配置を求めるといふが③鉄道事業者への駐輪場整備・対策の働きかけは。  
**答** ①駐輪場用地の確保、既存駐輪場の形態の改修等、検討が必要である②東急ストアが駐輪場の整備を検討している。自転車整備員の配置も申し入れたい③今まで以上にあらゆる面での協力を強く要請していく。  
**問** 五小子どもクラブを初め、校外学童クラブの校内移転の具体的方向性を問う。  
**答** 財政状況や優先順位を勘案し、条件が整ったところから、順次取り組みたい。

# 一般質問



第4回定例会で、3日目、4日目の12月7日、8日市政全般について、19名の議員から一般質問が行われました。この中から質問項目を要約して掲載します。詳しくは、各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーに置いてある会議録(2月下旬発行予定)、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索(第4回定例会分は2月14日登録予定)でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員がその所属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告を求め、または疑問を質すことをいいます。

詳しい内容はこちらのアドレスから検索いただけます。  
<http://asp.db-search.com/musashino-c/>

### 市民参加に向け、充実した情報提供を

砂川なおみ議員

**問** 現在市役所に市政資料コーナーを設置しているが、三多摩地域の行政資料をより充実させ、司書を配置した市政図書室を設置する考えはあるか。  
**答** 防災・安全センターの建設に伴い全庁的なレイアウトを見直す中で市政の情報提供のあり方も検討していく。  
**問** ユニバーサルデザインの視点で公共施設等を見直す必要があると考えるが見解は。  
**答** 誰もが利用しやすいよう当事者だけでなく専門家も含め、様々な視点でチェックしていく必要があると考える。  
このほか、子どもの権利条約についての質問がありました。



●12月22日、総務委員会及び委員外議員の13名が、法政大学第一中・高等学校(所在地:吉祥寺東町3-5-7)を視察しました。この視察は、同校が平成19年4月に三鷹市へ移転を予定していることに合わせて、市民から同校の跡地及び施設を市が取得するよう陳情が出され、議会で採択されたことから、行われたものです。

### 財政援助出資団体見直すべきでは

露木正司議員

**問** 財政援助出資団体は、設立から20年以上が経過している団体もあり、そのあり方について見直す時期に来ていると考えるが、①客観的な立場で点検・見直しを行う機関を設置する考えは②団体に市幹部職員が再就職している現状及び今後について所見は。  
**答** ①平成19年度に設置予定の第三者による事務事業見直し検討委員会がその役割を担うのか、下部組織を設置するのか、今後検討していきたい②市と団体の連携を図り、市職員を人材活用するということが調整等を行った結果だと聞いている。今後は団体の意思にもよるが、民間からの人材登用等を含め、市職員も活用してもらいたい。

### 子どもの安全対策強化を求め

小野正二議員

**問** 子どもを狙った悲惨な事件が発生している。迅速な安全対策が求められているが市や学校の対応を問う。  
**答** ホワイトイーグル等によるパトロールを強化した。地域、家庭、警察とも連携し、危険箇所の点検、集団での登下校、不審者情報の共有等に取り組んでいる。  
**問** 特別養護老人ホームの入所待機者の解消が急務である。小規模施設の開設を検討中とのことだが具体的な解決策を問う。  
**答** 市民のニーズに合致した施設整備を行うよう十分に研究・検討していく。  
このほか、障害者福祉についての質問がありました。

### 農水省跡地施設のコスト削減計画の提示を

山本ひとみ議員

**問** 先日最高裁で、本市の土地開発公社によって市が購入した土地の1件ごとの価格公開を命じる判決が出された。情報公開条例の実施機関に土地開発公社を初めとした財政援助出資団体も加えるよう条例を改正すべきと考えるが見解は。  
**答** 平成14年4月1日までに、全財政援助出資団体で条例に準じた内部管理規程を設けているため条例改正は考えていない。  
**問** 農水省跡地の新公共施設計画の抜本的見直しを公約したが、施設の規模やコストの具体的な削減策を示すべきではないか。  
**答** オープンハウスを開催し、市民の意見を聞いた上で慎重に検討していきたい。

### 三鷹駅北口周辺の開発はどうなっているのか

近藤和義議員

**問** 三鷹駅北口梅林跡地の民間開発の動向について周辺住民は注視している。もっと市は積極的に関与するべきではないか。また、当該土地を買収する考えはあるのか。  
**答** 宅地開発指導要綱等に基づき駅前商業地域にふさわしい開発計画に誘導したい。今後まちづくり条例の制定を検討する中で、開発協議で事前に十分調整する仕組みを考えたい。土地を買収する考えはない。  
**問** 市長・市役所交際費の支出基準を見直し、香典も出さない方針とあるが、誠意で葬儀は出せない。支出基準の再考を求め。  
**答** 香典を公金で払うべきではないと考えている。誠意を持って付き合いたい。

### 水害を繰り返さない取り組みについて

きくち太郎議員

**問** 平成17年9月4日の大雨で、北町を中心に出水の大きな被害があったが、本市の対応について、①徹夜で排水業務を行った消防団や職員に感謝したいが、一部被災者の方からは不満の声もある。見解は②屋外警報設備のテスト放送を求めるといふが③ハザードマップを作成・配布すべきでは。  
**答** ①被災者の気持ちになったきめ細かい対応が必要だった。地域の抜本的な解決策は今後検討したい②毎日17時にチャイムを鳴らしている③作成し、公開していきたい。  
**問** 市の公共施設内に防犯カメラを設置・録画をするべきと考えるが市長の見解は。  
**答** カメラ設置の基準づくりを検討したい。

### 市の土地価格の情報公開を問う

三宅英子議員

**問** 武蔵野市土地開発公社の土地購入価格の情報開示請求を、武蔵野市が非開示とした決定を取り消す判決が最高裁で確定したが、①この件の土地価格をどのように公表するのか②武蔵野市土地開発公社の所有する土地の価格を、決算資料等でわかるようにするべきではないか。  
**答** ①売買代金額開示の決定を行い、開示請求人に開示文書を送付した②裁判で問題となった、諸用地等の土地の個別の買収価格は決算資料等で公表していきたい。  
このほか、市の確認申請業務の改善、武蔵野日赤病院の産科縮小、吉祥寺美術館の企画等についての質問がありました。

### 市民要望に迅速に対応できる情報戦略を

松本清治議員

**問** 市民への情報提供について、①市長への手紙、タウンミーティングなど具体的な市民要望に対し市長の考えを1回ターンのあり方は②国の法改正などニュースで伝えられた情報を市民にQ&A方式で提供する考えは③市政アンケートの回答率向上のための工夫、結果報告の迅速性を図りたい。  
**答** ①要望は聞き放しにせず、あらゆる情報媒体を使って市民に返していく②市民が必要とする情報源にリンクさせ、的確に伝わる方法を検討する③回収率向上の工夫や短期間での結果の公表に努力したい。  
このほか、市政アンケート、各種モニター調査等の質問がありました。

### 中学校給食実現までのロード・マップ明示することが必要

川名ゆうじ議員

**問** 中学校給食の実現までのロード・マップ(具体的な日程)について問う。  
**答** 具体的な実施に向け、今年度は庁内プロジェクトチームを設置して、平成19年度内の実現を目指し検討、準備する。  
**問** 東京都は、来年度予算から子育て関連の補助金をまとめて交付金にする子育て推進交付金(仮称)制度を創設する予定だが、この制度についての見解を問う。  
**答** この制度によって、子育て関連の補助総額が減額されることのないよう、市長会でも検討し、意見を都に述べていく。  
このほか、市民参加の手法、駐輪場についての質問がありました。

### 子育て支援、教育等の市長の考えを問う

土屋美恵子議員

**問** 2人目、3人目を育てたくなる子育て支援について具体的に問う。  
**答** 保育園を含む乳幼児期の子育て支援、あそべえ、学童クラブ等の放課後児童対策、子育てSOS支援センターの充実など、多様な子育て支援策を組み合わせる必要があると認識している。  
**問** 家庭教育と学校教育のあり方について市長の考えを問う。  
**答** 子育ての基本は家庭にあるが、状況・環境の変化を踏まえると、子育て中の家庭を地域で支えていく必要があると考える。  
このほか、子育て関連施策の受益者負担についての質問がありました。



●10月16日、29日、11月6日に市内3カ所で1日プレイパーク(冒険遊び場)が開催されました。延べ628名の子どもたちが参加しました。今後も整備に向けた検討が進められる予定です。

